

岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報誌

岐大の いぶき

2020-2021
Autumn-Winter No. 40



MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構



岐阜大学

これからの 地域創生





「柳戸農場」 昭和59年 各務原農場から柳戸地区へ移転。応用生物科学部の実習や研究活動が行われています。

岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報紙

岐大の いぶき

2020-2021
Autumn-Winter No.40

published by



[表紙写真]

森部 絢嗣 准教授

04-11 【特集】 これからの地域創生

岐阜大学高等研究院Coデザイン研究センター 森部 絢嗣 准教授
岐阜大学高等研究院地域環境変動適応研究センター

12-15 岐大で生まれるもの。最先端研究の現場。

岐阜大学応用生物科学部 生産環境科学課程 応用植物科学コース 山田 邦夫 教授
岐阜大学工学部 化学・生命工学科 物質化学コース 木村 浩 准教授

16-17 ひらけ! 授業の扉

岐阜大学大学院医学系研究科「医療者教育学専攻修士課程」

18-19 いまを駆ける! 岐大生FACE

Interview 岐阜大学ジャグリングサークル Juggrass代表 五十棲 大河 さん

20-21 Topics 岐阜大学のとりくみ Apr.2020→Nov.2020

22-23 新型コロナウイルス感染症対策とこれからの大学教育

24-26 岐阜大学基金

地域展開ビジョン2030

～地域の新たな価値の創造と知識集約型社会への変革～

岐阜大学は、令和2年度より一法人複数大学という新しい制度の下で名古屋大学と法人統合し、東海国立大学機構の一員となりました。東海国立大学機構は、大学・産業界・地域の発展の好循環を創出する我が国の新しいモデルを構築し、国際的な競争力向上と地域創生への貢献を同時に達成することを目指しています。また、岐阜大学と名古屋大学の強みのある分野を中心に、世界最高水準の研究を展開することで知の中核拠点化と国際通用性のある質の高い教育を両立し、国内外で活躍する次世代リーダーの育成を図ります。

岐阜大学が令和2年6月に発表した『地域展開ビジョン2030 ～地域の新たな価値の創造と知識集約型社会への変革～』は、これらのミッションの実現に向けて、今後取り組んでいく研究や産官学連携の基本方針とアクションプランをまとめたものです。3つの戦略「研究推進」、「産学協働」、「社会貢献」のもと、地域の課題を解決する22の研究プロジェクトを実施してまいります。今号では、22の研究プロジェクトのうち2つを取り上げ、岐阜大学が提案する“これからの地域創生”をご紹介します。